

“気仙復興の象徴”が、赤崎町に！

—— 再建！地元気仙の杉を用いた昔ながらの日本建築 ——

この家を建てているのは、赤崎漁村センターで避難生活を4か月続けている千葉徳雄さん、76歳。

私が千葉さんと出逢ったのは、5月下旬のことでした。気仙市民復興連絡会の炊き出しで訪問した避難所のその2階の広間で津波の話や、家の話、家族の話をしてくれました。

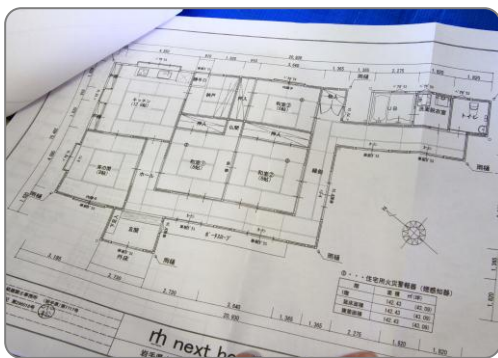


『津波はまたいつか来ると思っていた。だから5年前に高台の土地を買ったんだ。』

チリ津波のとき、そして今回も店舗や自宅は流されました。

2度も家を失い、それでも家を建てる理由とは…？ それは愛に満ちたものでした。

～ 奥様への愛、息子さんへの愛、そして気仙への愛 ～



体調を崩し施設生活を送る奥様が、車椅子でも自由に動き回れるよう、玄関や廊下を広く設計されたり、いまは県外で離れて暮らし、気仙に帰ってくるかもわからない息子さんのために、この家を残していきたいと考えていること。

気仙杉を惜しみなく使い、気仙大工に腕をふるってもらうことで、気仙復興の第一歩として、その原動力のきっかけづくりの意味もあるそうです。

『80歳前にして家を建てるなんて馬鹿げていると思うでしょう？ だけど、こんなジイサンにだって出来るんだって知れば“私たちもくじけず頑張るぞ！”と、後に続いて再建への道を歩んでいく人たちが増えるかもしれない。あきらめず前に進むことの大切さを他の人たちにも伝えたいんだよね…』と、大空を見上げながら話されていた横顔がとても印象的でした。



完成は8月末、気仙杉の香りに包まれた新居のお披露目は9月初旬に予定。

数年前、急性心筋梗塞で命の境を彷徨ったこともある千葉さん。新居の庭には入院生活で初めて食べて以来、好物となったというゴールドキウイフルーツや葡萄、スグリなどが収穫を待ちわびている様子も覗うことができました。いざ、復興へ一歩前進！

“観光復興”の第一歩。

— 観光地・碁石海岸を清掃ボランティア、観光も兼ねて移動バスにガイド同乗 —



穴通磯

7月10日(日)、大船渡の観光ボランティア組織である、“樁の里・大船渡ガイドの会”と市民が、大船渡市を代表する観光地〔碁石海岸〕を観光復興の第一歩として清掃作業を企画。併せて、ガイドの会のメンバーが大船渡ボランティアセンターから出発する移動バス2台(愛知県西尾市と秋田県能代市)それぞれに同乗し、大船渡～碁石までの道すがら、変

わり果てた町をガイドしながら走行。ガイドを担当したのは、大船渡ガイドの会の熊谷さん、志田さん、田村さん。移動途中“穴通磯”まで観光ガイドも行い、壮大な景観に県外からのボランティアさんたちはとても感動されていました。

『目的はもちろんボランティア活動そのものだったけれど、観光地の案内などしてもらえて嬉しい。こういった活動は今後も続けていってボランティアに来た人たちに大船渡の魅力を伝え続けていってほしい。』と参加されたボランティアさんが話していたように、観光とボランティアを組み合わせた活動は今後の需要が高まっていくのではないのでしょうか。

(※志田さんと田村さんは、今回の震災で自らが被災しながらも炊き出しなど積極的に活動をしています。田村さんの幼少期のチリ津波体験時の話や、志田さん壮絶な避難話などを、真剣に聞き入るボランティアさんたちの姿がとても印象的でした)



ガイドの志田さんは、今でも避難所生活。気丈に明るい語りは皆の心を引き寄せて。



西尾市の皆さんと一緒に

この日は、市民や一般ボランティア合わせて総勢100名規模の開催となり、10時から恵比寿浜、碁石浜などを清掃し草刈りなど予定していましたが、作業前に津波警報が発令されたため安全最優先としてレストハウス周辺の草刈りなどを中心に作業を行い、津波体験談などを県外の方へ伝えるプチ講演会を開催し、ボランティアに訪れた愛知県西

尾市のみなさんは『こういった話が聞いてよかった。報道ではわからなかった部分を知ることができた。地元に戻ったら皆に話しボランティアに行くよう伝えていきたい。』と言われる方もいました。



草刈り

長い復興への道のりを息絶えることなく歩き続けていくために、こういった観光や、地元の方との交流を兼ねた活動も、緊急支援を終えた今後は必要なのかもしれないですね。

【主催】樁の里・大船渡ガイドの会

【後援】大船渡市、大船渡市観光物産協会、碁石海岸レストハウス

こころの里

日ごろの気がかり、心の疲れ、ストレス
不眠、なんとなく気分が優れない…などでお困りの方



予約なしの場合／14:00～16:00 (月曜、火曜～金曜)

予約可能時間／9:00～16:00 (火曜日～日曜日)

場所／リアスホール駐車場内のトレーラーハウス

対象者／どなたでもお気軽にどうぞ。

予約・お問い合わせ／080-6010-5352

NPO 愛知ネット・臨床心理士チーム



NHK 厚生文化事業団[わかば基金]から、リサイクルパソコン3台の支援を受けたNPO法人“夢ネット大船渡”が主催するパソコン教室が、7月6日(水)に震災後初再始動しました。この活動は将来の就業に繋げていくためのもの。メイン講師は夢ネット大船渡の西村さん。他に講師として同NPOから岩城さん、千葉さんも指導にあたりました。

授業はマイクロソフト社のワードを用い、絵を描くもの。

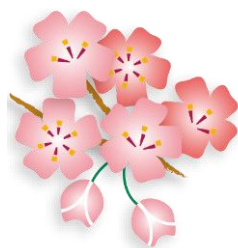


『震災があってから“がんばろう”という言葉の色々な印刷物をどこにいてもよく見かけます。今日はその印刷物を作ってみようと思います。』と話した後、授業スタート。使用許可を得た著作物を真似て、椿の花などを描きました。

授業はプロジェクターを用い、個人のペースに合わせてゆっくりと進んでいきます。図形を組み合わせ並べることで椿の花に。受講生の皆さんは花の形が仕上がるにつれ、微笑みを浮かべて嬉しそうです。

今後は毎週水曜日開催。(一般からの受講はスペースの関係上、現時点で受付していません)メイン講師は月替わり交代制で、来月は岩城さんが担当予定です。

NPO法人 夢ネット大船渡の皆さんは、『パソコン教室をとおして社会性を学ぶキッカケになれば』と話されていました。わからないところを「わかりません、教えてください」と手を挙げて言われることが、きっと嬉しい瞬間なんですよ。



桜場公民館にありがとう！



観光ボランティアガイド
椿の里・ガイドの会々員 水野貞一

6月上旬頃までの炊き出しは、現地(炊き出し会場となる各避難所など)で、調理していましたが、梅雨の時期に入りハエの大量発生やガレキの粉塵の飛散など現地での調理には衛生上問題があると判断し、以降数回にわたり大船渡市盛町にある桜場公民館の調理室をお借りし、下ごしらえなど行ってきました。

安心・安全な環境のなかで無事に炊き出し活動ができたのも、桜場公民館のご協力があったからだ、地域の方の温かいご協力に感謝申し上げます。

さて、盛町のお天王さまも間もなくです。毎年、盛町の各地域公民館が順番でこのお祭りのお世話をしており、今年は桜場公民館が当番になっているようですが、被災された方も多く人手が不足していることを耳にしました。そこで、これまで調理室をお貸ししていただいたお礼に、お祭り準備の手伝いをさせていただき、“食べると1年間無病息災”と言われている「おこわ」をもさばロハス倶楽部&椿の里・大船渡ガイドの会で400個作ります。みなさまに是非、このおこわを食べさせていただきたいと思います。

お祭り日程：7月12日(火)～15日(金)
お天王さま(岩手県大船渡市盛町町1-4)
おこわ振る舞い：7月12日(火) ※限定400個

浴衣を着て下駄を鳴らしながら、お参りに来る子どもたちの姿が浮かびます。いつもの年と変わらないお祭りにしたいと思っています。

連絡会からのお知らせ



気仙市民復興連絡会では気仙地域における活動団体等の情報収集・発信(助成金情報提供等)を行っていきます。情報を発信したい等、相談等の窓口としてお気軽にご利用下さい。

広報活動のお手伝い(取材)も行かせていただきます。お気軽に広報担当までお尋ねください。

◆ 本紙(復興ニュース)の入手方法についてのご案内 ◆

発行は毎週火曜・金曜日です。配布(掲示)場所は下記のとおりです。(7/12 現在)御協力いただいている店舗さま・関係者各位さま、いつもありがとうございます。

【復興ニュース配布場所】(順不同・敬称略)

(陸前高田市)

- ・陸前高田市役所(1階ロビー)
- ・瀬沢団地仮設住宅(モビリア)全60戸
- ・マイヤ米崎出張販売所
- ・相野果樹園跡(お花コーナーの後方)

(大船渡市)

- ・大船渡市役所([受付]から左に進んだ左手棚)
- ・大船渡地区合同庁舎(1階ロビー、1階売店)
- ・サン・リア(1階昇りエスカレーター横の棚)
- ・薬王堂 大船渡盛店(レジ裏お知らせコーナー)
- ・マイヤ 大船渡インター店(レジ後方ガラス窓沿いのカウンター))
- ・YSセンター(情報コーナー)
- ・喫茶・ロリアン[大船渡市盛町]
- ・佐々木荒物店レジ横[大船渡市盛町商店街]
- ・地ノ森団地仮設住宅 全72戸
- ・黒戸田団地仮設住宅(綾里中学校)全90戸(住民Nさんによる配布協力:いつもありがとうございます)
- ・カメラアホール[大船渡市盛町](1階ホール)
- ・大船渡社会福祉協議会(ボランティアセンター)
- ・リアスホール[大船渡市](警察官詰め所横の棚)
- ・薬王堂 大船渡店(レジ横L字カウンター端)
- ・福祉の里(情報コーナー、1階ロビー)
- ・ダイマル店頭[大船渡市盛町商店街]
- ・千田薬局[三陸町綾里]
- ・鳥沢団地仮設住宅(蛸ノ浦小学校)全47戸

(住田町)

- ・住田町役場
- ・住田町仮設住宅(火石団地全13戸、本町団地全17戸、中上団地全63戸)

配布が行き届いておらずご迷惑おかけしております。

仮設住宅などにも順次ポスティング配布していきたいと検討中ですが、配布人員が足りずすべての仮設住宅への配布が難しい状況です。仮設住宅にお住いの方で、たとえば『自分が住んでいる仮設住宅のぶんだけならボランティアで配布できるなあ…』といった方など、ご協力いただけるとありがたいです。

また“ご自由にお取りください”のような設置型配布、“ご自由にご覧ください”のようなクリアファイルなどを用いた閲覧ブック設置にご協力くださる店舗さまや団体さまも引き続き募集しています。

[復興ニュース]第30号 2011.7.12.

発行 : 気仙市民復興連絡会

Tel&Fax 0192-47-3271 携帯: 080-2801-5352(呼)山口<奈>

kesenshimin.f.r@gmail.com

<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp>

【印刷ご協力:ありがとうございます】大船渡セントラル(第29号)、住田町役場(第30号)